

都合により、日程変更
いたしました。
御多用中恐縮ですが、
重要審議につき、極力
御出席の程よろしく
お願い申し上げます。

党派を超えて国家的課題を追求する
公益財団法人 協和協会
時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
教育部会長 若 林 克 彦
両団体専務理事 清 原 淳 平

教育部会のお知らせ (第350回)

日 時 平成31年3月26日(火) 午後1時半～3時半
場 所 参議院議員会館 1階 102会議室
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より下車5分、
永田町駅(有楽町線・南北線)①番出口より下車2分。当日、
午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。時
刻前に到着された方は、恐縮ですが、金属探知機通過後、受付
脇のロビーにてお待ちください。会議開始後にお越しの方は、
受付に「第3会議室に行きたい」旨、お伝え下されば、お迎え
にまいります。

- 議 題 1、最近の教育改革について思う
挨拶 若林克彦部会長(国士館大学元学長)
2、要請書具体案の検討(最終審議)
解説 若林克彦部会長

報 告 去る2月26日開催の、第349回教育部会は、若林克彦部会
長が議長を務めて行われました。まず、若林部会長より、「要請
書具体案の検討」と題して解説がありました。高大一貫教育機関
は、7年間で修士レベルまでの教育を可能とする機関である。企
業にとっては、2年早く修士レベルの実践的な技術者を雇入れる
ことができ、大学院にとっては、修士課程入学段階で一度修士レ
ベルの論文を書き上げていることから、欧米大学院に比肩する高
度な教育を施すことができる。現在、society5.0と呼ばれるあら
ゆる産業、社会生活がAIで解析され、インターネットに接続さ

れ、作業がロボットによって行われる中、その基礎となる数学や情報科学
等に関する研究開発と教育がアメリカ・中国に比して大きく立ち遅れてい
る。特に、日本の学生は情報科学の十分なトレーニングを受けていない。
世界的にAI研究者が不足している中、アメリカの4大企業と日本企業と
の差も段違いだ。AIが発達したからと言って、高度な判断や発想は、A
Iが取って代わる可能性は低い。今の高等学校のように、2年次で文系と
理系が分かれて、受験に関係のない科目は全く勉強しないという状況では、
近い将来迎える society5.0 に対応できない。すでに高専は完成教育を標榜
し、卒業生の就職率はほぼ100%と、産業界からの評判も高い。この成
功例をモデルに、高大一貫教育機関を提案し、大学教育の質の向上につな
げていきたい。

次に、提案書の内容について意見交換がありました。○提言内容自体に
問題はないが、問題は予算である。低所得者層への大学までの無償化が先
日閣議決定されたが、これに7千6百億円かかっている。財源が厳しい中
で、高大一貫にするメリットを強く打ち出して、予算を出す側を説得しな
ければならない。○欧米の大学では、学修内容もさることながら、社会に
出て何をしたかが求められている。日本の大学に入るまでの期間に一番勉
強したというのでは、当然世界大学ランキングも低下してしまう。○進路
は遅くとも高校1年次終了までには決定させたい。○何歳でどの教育機関
に入るかを固定化するやり方は時代に合わない。弾力化し、優秀な人材は
早い年齢から高等教育を受けさせたほうがよい。○当団体では、すでに5
年前に「幼保から大学・大学院までの抜本的改革」要請書を政府へ提出し
ている。この要請書に肉付けするか、今回の提言から重要部分だけを抜き
出した形で作るか、改めて検討したい。

★資料代 会員は五百円に ご協力御願ひ申し上げます。

次回、3月26日(火)の教育部会に

出・欠 (いずれかに○印)

事務局宛 FAX 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の FAX _____

電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。非会員で
参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。
(その場合の当日会費は二千元となります)

当日連絡先 080-8836-6203 又は 080-9292-2620

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp